

Primula Polyanthus Group の 原種の1つ *Primula elatior*

田 中 桃 三

今年の花葉会の海外園芸事情視察研修旅行は別項のとおり、フロリーアードを見学し、イスタンブール、ブルガリアの自生地探索を行った。

この数年はメキシコ、モンゴルなどの園芸植物の原種を訪ねる旅行を実施してきたが、今年ブルガリアは、コース、天候に恵まれ収穫の多い旅であった。

ブルガリアはさほど広くない（日本の約3分の1程度）国土に、ヨーロッパで2番目に多い植物相があるとされ、イタリア中部とほぼ同緯度に位置する。

ブルガリア国内に到着し、1泊の後ピリン山脈へ向かった。ここは今回訪れた山地の中でもっとも南に位置し、一帯は国立公園として保護されている。

バスを駐車場にとめ、溪谷沿いに歩き始めると、石灰岩質の岩山でどこか日本の風景に似ているような感じである。ダイアンサス、サルビア、ビオラなどをみ

ることができた。しばらく歩くと *P. elatior* があったが、花のあとで結実していた。

なお歩くときやがて残雪があり、その横に紫と白のクロッカスが開花しており、そのそばに表紙の *P. elatior* が咲いていた。今年異常気象で、この付近では積雪が多く、この時期（6月終わり～7月初め）に雪があるのは珍しいとの話である。そのため私たちは春の花から夏の花まで見ることが出来たのであった。

P. elatior はヨーロッパ一帯に分布するが、東ヨーロッパに多く自生する。現在広く栽培されるプリムラポリアンサスグループの交配親の一つとして利用されてきた。セイタカセイヨウサクラソウの和名を持つ。自生種の花色は黄色だが濃淡がある。赤色もあり、これは亜種 (*P. elatior* ssp. *meyeri* = *P. amoena*) とされている。こちらもポリアンサスグループの原種の一つである。

今回訪れたブルガリア山地には他にもプリムラ類はあり、*P. minima* *P. deorum* などがある。後者はブルガリアの一部しか見られない貴重種で、今回はピンク色のほかに白花種を発見できたことは大変うれしいことであった。

余談ながら、同様の貴重種として *Pinguicula balcanica*（ムシトリスミレの一種）があった。本種はアルバニア、ギリシャにもあるが、バルカン地方の特産種である。



ピリン山脈付近の風景 向かいの山は翌日登ったリラ山脈



付近の湖 湖の手前の花は *Primula deorum*